

## 赤平市地球温暖化対策実行計画の進捗状況について

赤平市では、地球温暖化対策の推進に関する法律第 21 条に基づき策定した地方公共団体実行計画（赤平市地球温暖化対策実行計画～赤平市役所エコオフィス化計画～）を平成 30 年度に改定し、公共施設等に関わる地球温暖化対策を進めています。

この度、令和元年度の二酸化炭素排出量の算定結果がまとまりましたので、計画の進捗状況を公表します。

住民・事業者のみなさんも、できることから地球温暖化対策に取り組んでまいりましょう。

### 1 二酸化炭素の排出状況

赤平市における令和元年度の二酸化炭素排出量は、7,104.1t でした。

基準年度である平成 25 年度と比較すると、491.9t 減少しました。

燃料種別では、病院の改築に伴う地中熱の利用等により、A 重油に係る CO2 排出量は大幅に減少（525.3t）いたしました。その影響も含め電気の使用量が増え、387.4t 増加し、また、施設の廃止等がありましたものの、統合中学校の建設、炭鉱遺産ガイドランス施設の新設等により、灯油に係る CO2 排出量が 74.0t の増加となっています。

施設別では、庁舎等、病院及び公用車の CO2 排出量は、それぞれ基準年に対し、9.2%、7.7%、29.2%と削減しましたが、教育施設は 6.1%（99.4t）の増加となっています。

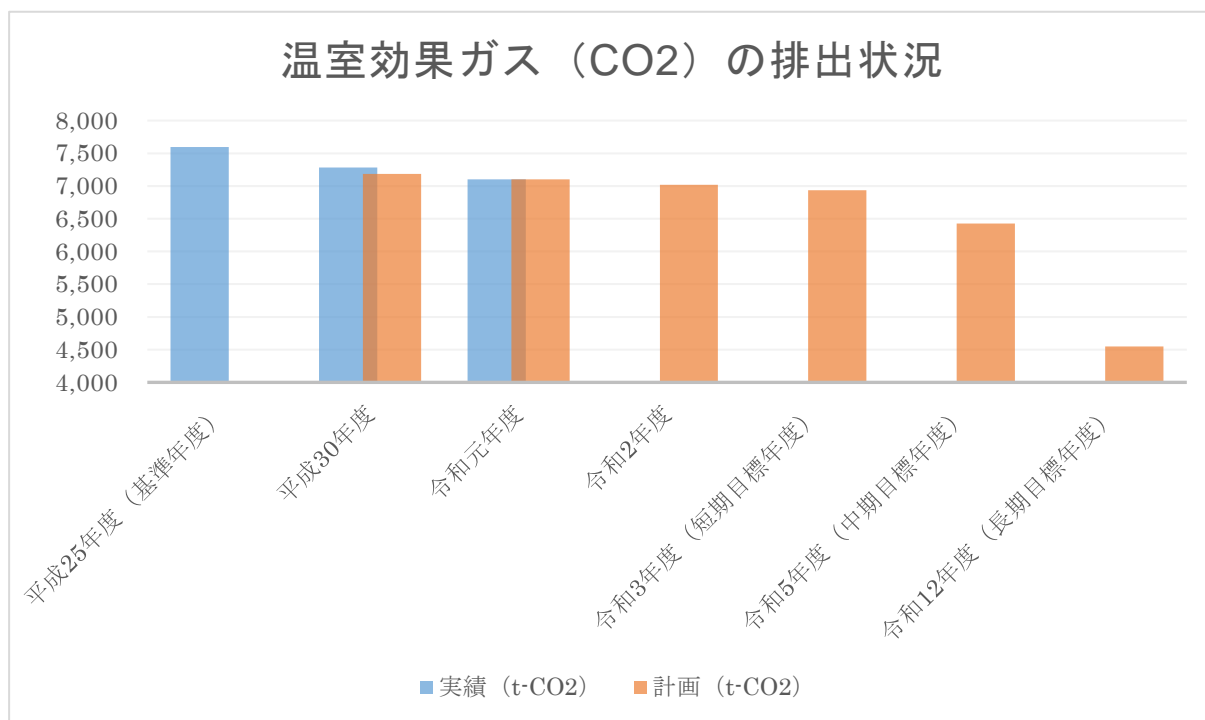
### 要因別温室効果ガス排出量

項目		単位	基準年度（平成 25 年度）			令和元年度			
			使用量	CO2 換算		使用量	CO2 換算		
				排出量 (t-CO2)	割合 (%)		排出量 (t-CO2)	割合 (%)	
庁舎等	庁舎等の燃料の使用	A 重油	ℓ	221,000	598.9	7.9	240,000	650.4	9.2
		灯油	ℓ	101,658	253.1	3.3	108,444	270.0	3.8
		軽油	ℓ	9,949	25.7	0.3	26,747	69.0	1.0
		ガソリン	ℓ	186	0.4	0.0	9,471	22.0	0.3
		LP ガス	m <sup>3</sup>	1,490	9.8	0.1	1,600	10.5	0.1
	庁舎等の電気の使用	kWh	3,353,950	2,284.0	30.1	2,887,743	1,856.8	26.1	
小計				3,171.9	41.8		2,878.7	40.5	
教育委員会	教育施設等の燃料の使用	A 重油	ℓ	159,945	433.5	5.7	157,114	425.8	6.0
		灯油	ℓ	103,860	258.6	3.4	127,161	316.6	4.5
		軽油	ℓ	470	1.2	0.0	1,892	4.9	0.1
		ガソリン	ℓ	3,244	7.5	0.1	2,407	5.6	0.1
		LP ガス	m <sup>3</sup>	398	2.6	0.0	261	1.7	0.0
	教育施設等の電気の使用	kWh	1,339,923	912.5	12.0	1,494,033	960.7	13.5	
小計				1,615.9	21.3		1,715.2	24.1	
病院	病院の燃料の使用	A 重油	ℓ	510,000	1,382.1	18.2	300,000	813.0	11.4
		灯油	ℓ	1,911	4.8	0.1	1,545	3.8	0.1
		LP ガス	m <sup>3</sup>	1,568	10.3	0.1	1,152	7.5	0.1
	病院の電気の使用	kWh	1,504,629	1,024.7	13.5	2,196,088	1,412.1	19.9	
小計				2,421.8	31.9		2,236.5	31.5	
公用車	車両燃料の使用	ガソリン	ℓ	41,130	95.4	1.3	25,567	59.3	0.8
		軽油	ℓ	112,771	290.9	3.8	83,069	214.3	3.0
	小計				386.4	5.1		273.6	3.9
合計				7,596.0	100.0		7,104.1	100.0	

## 2 計画の進捗状況

前実行計画では排出量 5%以上の削減を目標として定め、未達成に終わりましたが、病院の改築に伴う地中熱の利用や、一部の施設ではありますが、LED 化等省エネ化を進めてきていること、更に、基準年度より既に 6 年が経過し、改定後初年度ということもあり、CO<sub>2</sub> 排出量の減少はある程度進んでいると考えられ、基準年に対し 491.9t 減少の 7,104.1t という結果となりました。

昨年との比較では、庁舎等、教育施設、病院及び公用車の CO<sub>2</sub> 排出量は、それぞれ、30.4t、46.3t、49.6t、50.5t、合計 176.8t と削減しましたが、向後、短期目標を達成させるには、本年度（令和 2 年度）を含め 2 年間で 167.4t、毎年 83.7t の削減を進めていく必要があります。



## 3 点検評価結果

令和元年度は、基準年度と比較すると、昨年度同様、病院の改築に伴う地中熱の利用による影響のほか、施設の統廃合等もあり、CO<sub>2</sub> 排出量は減少しましたが、一方では、休止していた施設の再利用（平岸コミュニティセンター）や、統合中学校の建設、炭鉱遺産ガイド施設の新設による影響、更には、既存施設においても増加傾向にある施設も一部見受けられます。

総体的には、CO<sub>2</sub> 排出量では対基準年度比で 6.5%の減少となり、ほぼ計画どおりとなりましたが、長期目標（令和 12 年度）は、国とほぼ同様の 40.1%の削減を目標としており、施設の統廃合、省エネボイラへの取替、LED 化の促進等実行計画に沿って、取組みを進めていくことが求められます。

